

# 令和3年度 初倉中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

実施方針	目標	具体的な取り組み	実績	評価		課題・今後の方向性		
				取組毎の評価	方針毎の評価			
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	コンビニ・個人商店・アパート管理会社等に働きかけ潜在している個別課題を把握する。	アンケートでの方式で情報を収集し、支援が必要な高齢者を把握する(年2回)	6月にコンビニ・タクシー会社へアンケートを実施。商店等は適宜訪問実施	△		アンケートより訪問時に情報提供をしていたことが多く、適宜訪問していく。	
		課題分析、援助方法、課題解決に向けた検討を行う。	個別ケア会議の開催(随時)	5件開催	○		ケースがあれば適宜開催していく	
		地域課題を把握・住民と共有し、問題解決に向けた検討を行う。	地域ケア会議の開催(随時)	今年度中に開催予定(あさがおしまし)	△	△	ケースがあれば適宜開催していく	
		高齢者が食事を通し様々な年代と交流できる場を提供する。	はつくらこども食堂との連携(年3回)	11月開催時、独居高齢者の参加あり。	△		12月以降、初倉地区G.H.入居者の参加予定あり。関りを継続していく	
		しまとれ支援・新規立ち上げ	①継続10ヶ所への支援 ②しまとれ出前講座の実施(2ヶ所実施)後、新規開催に繋げる。 ③新規開設した事業所にPRを行い実施に繋げる。	①11ヶ所実施 ②未実施 ③あさがおで実施済	△		①:継続して支援を行う ②:来年1月あさがおしまとれで実施予定 ③:実施済み	
認知症施策の推進	認知症になっても、地域で支えあいながら住み慣れた場所で生活できるよう支援します。	認知症の方、介護者が相談・交流できる機会をつくる。	①認知症カフェの開催(年6回) ②チームオレンジ連絡会(年5回)	①4回実施 ②5回実施	△		①:コロナ過でも開催可能な方法の確立させる。 ②:来年度も年5回を予定	
		幅広い世代に認知症を周知し、サポーターとして活動してもらう。	認知症サポーター養成講座の開催 ①初倉小・初倉南小・初倉中学校(年1回ずつ) ②はつくらこども食堂(年1回) ③ほっと月坂(ふれあい)・南原いきがいクラブ(ふれあい)(年1回ずつ)	①1回ずつ開催 ②開催 ③未開催	△	△	①講座に新たな取り組みを取り入れた。来年度も継続。 ②認知症カフェ機能をもつこども食堂を目指していく。 ③スタッフ対象の開催を再検討	
選択項目	家族介護者の負担軽減・離職防止に向けた取り組み	介護離職講座の実施。	①一般企業への講座(年1回) ②個別の相談会を開催する(年1回)	ポスターを作成し企業へ配布した。	△	△	来年度も①②を目標に掲げる予定。	
	多職種・他機関とのネットワーク構築	関係機関と連携し高齢者を支えます。	ケアマネジャーとの連携に加え地域の活動を知る機会を設け、積極的にプランに反映できるよう支援します。	①初倉地区ケアマネ連絡会(年3回) ・自立支援型ケア会議との合同開催(グループワーク) ・民生委員との情報交換会 ・医療、介護に関する勉強会 ②地域の活動へケアマネジャーと参加(1事業所につき年2回以上)	①計画通り実施し、追加でゲートキーパーの講習を行う。また、初倉地区のケアマネのみで勉強会を1回/隔月に実施 ②未実施	◎	△	ケアプランの中にもふれあいやしまとれ・地域の活動への参加を追加できるよう、来年度は地域の活動への参加を実施したい。
			生活安心課と協力し特殊詐欺予防の啓発活動を行います。	地域活動内での講話(年3回)	年2回実施 2月に島田警察署から詐欺予防の講話予定。	△		年度中に実施予定。講話の内容が難しとの声があり、身近な内容に変更していく。
			民生委員との連携強化。	①民生委員・包括情報交換会(年1回) ②民生委員・児童委員連絡協議会定例会への出席(月1回)	①2回開催 ②毎月出席	◎		来年度も2回開催予定
センターの認知度を高めるための周知活動	地域活動へ参加し周知活動を行います。	各団体への口頭・チラシでPRを行う。	しまとれ・居場所・ふれあい・各講座開催時など20ヶ所	20回達成した	△	△	コロナ過でも積極的な参加を継続していく。	